

折り 柏木教会のため

川合 太郎

一、「湖上を歩くイエス」の記事は、嵐の逆風に遭う弟子達は主イエスを一瞬見失ってしまったのです。どの記事も、「神のみ業の遂行のために、主イエスが共に歩いてくださり、助けて目的地に運んでくださる」という事実を伝えています。私たちもこの弟子達のような状態に陥り、立ちすくんでいることはないか、初週に当たり神のみ前に信仰を点検し、悔い改めて新しく出発する決意をしたい。

教会の課題は、ここ十数年同じです。しかしその年毎に課題を噛み砕き、具体的に実行すべきものを、祈り導かれ進んで来ました。現状認識と将来の在り方に思いを巡らし、本年に相応しい具体的な行動が、神のご計画のみ業として導き示されるように祈ります。

二、全てを支配している聖なる神のみ心を求め、救いのみ業を確信し従うことには着眼し目を離さないこと、そこから導き示される目の前にある具体的なみ業に仕えることでしょう。螺旋階段のように回りながら上に向かって一步ずつ

階段を踏みしめ進むことである。

受洗を感謝して

中山 俊美

福原 雅

(一) 教会があらゆる人に開かれ、教会こそが真の憩いと喜びと力の泉のところとなるように。イ、家族へ信仰を伝え、伴侶や子供が救われ家庭が同じ信仰による祈りの場となること。

口、求道中の方々が一人でも多く

救われ、私たちと共に喜びと感謝の礼拝を捧げ、主が備えられた恵みの聖餐に与れるようになります。

ハ、日曜学校の安定とその働きが強め支えられるように、仕える教師が起こされること。

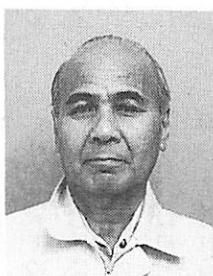
(二) 教会形成の中心と責任を働く世代へ移していくように。

(三) 多摩集会所が伝道所へと更なる前進ができるように。

常に、聖書のみ言葉と礼拝に立ち帰り、一人一人がみ言葉によつて育てられ、信仰を健全に保ち、神のみ業を確信し、信仰に根ざした奉仕と献身する教会員が一人で多く起こされるように。

新年度を迎え、主イエスに目を高く上げ心を一つにして、恐れず勇気をもつて確実に進むことが出来るよう、共に祈りを篤くしまします。

信仰告白を感謝して



洗礼式は充分な準備のお陰で落ち着いて出来ました。心は穏やかで、澄み切っていました。式のあと見守つて下さった柏木教会の皆様の中で信仰告白に導かれたことを感謝致します。

「何事も思い煩つてはならない。ただ、事ごとに、感謝をもつて祈り願いをささげ、あなたがたの求めるところを神に申し上げるがよい。これは、悩み始めるとはまたから自分には資格が無いのではなくて悩んでいたが、これでよかつたのだとふつ切ることが出来ました。

今迄、日曜礼拝は心を癒してください。霧雨気がありのと気楽な参加者であったことを反省し、これからは諸先輩達の行いを見習い、和を乱さぬよう心掛けたいと思ひます。



島斐子先生のお電話、温かい励まし、大浦牧師の熱いご指導のもと、小学一年生からお世話になり温かく見守つて下さった柏木教会の皆様の中で信仰告白に導かれたことを感謝致します。

「何事も思い煩つてはならない。ただ、事ごとに、感謝をもつて祈り願いをささげ、あなたがたの求めるところを神に申し上げるがよい。これは、悩み始めるとはまたから自分には資格が無いのではなくて悩んでいたが、これでよかつたのだとふつ切ることが出来ました。

今迄、日曜礼拝は心を癒してください。霧雨気がありのと気楽な参加者であったことを反省し、これからは諸先輩達の行いを見習い、和を乱さぬよう心掛けたいと思ひます。

神に喜ばれる生き方とは、そして自分は何をするのか、全く見当もつかないが、今までより素直になることから始めようと思います。大浦先生及び教会員の皆様、これからも宜しくお願ひ致します。